

総合社会学部卒業生アンケート結果

【環境・まちづくり系専攻】

期間:2021年10月

方法:総合社会学部 LINE オフィシャルアカウント経由でのウェブアンケート

分析対象者:記入のあった445名のうち環境系、環境、まちづくり系専攻の卒業生124名

【1】 大学での学びは、卒業後、どの程度役に立っていると思いますか？
(全く役に立っていない0～非常に役に立っている6)



【2】 印象に残っている授業について(40名の有効回答)
一部をピックアップして紹介します。

- ・ 持続可能社会論という授業で、在学中はSDGsがマイナーであったが、昨今ではSDGsという言葉が当たり前になり、会社(運輸業)でも取り扱うようになったことで時代を先取りしていたんだなと感じると共に大学時代を思い出しました。
- ・ まちづくりやボランティアなどを経験させていただく授業が楽しく、印象に残っています。
- ・ まちづくり。実際に生活する上でまちづくりの小さな工夫に気づけたり、旅行先で授業で聞いたことだ!!と楽しくなることがある。

- ・ 演習の授業で、実際に御所の商店街に行き、現地の話をもとにプレゼンテーションしたこと授業が印象に残っています。
- ・ photoshop を使う授業に残っています。自分で地図をつくるなど、もっと詳しく勉強したかったと大人になってから思いました。
- ・ 統計学や環境マネジメント実務士の資格用科目で学んだ「調べ方・考え方のコツ」は今でも役に立っていると思う。単なる知識ではなく、基本的で応用が効くので。
- ・ ポスト近代社会論 2。世界の哲学者の思想、生き方の内容が面白かった。特にキケルゴールという哲学者が不運な中でも前を向いて生きていく姿が人間らしくて良いなと感じた。
- ・ 環境デザイン。身近にある建物、物体全てが私達に使いやすいデザインであることを知り、違う視点で景色を見ることができた。
- ・ 割り箸の使用は本当に環境に優しいのか、捕鯨は海外から批判されているが感情理論でデータに基づいているのか等を考察する内容は、自分の考えも見直したきっかけであり今でも強く印象に残っています。
- ・ 自分の家でエコチャレンジして、いくら節約したかをまとめる授業。その時ごみの重さやシャワーの水の量などを意識したので、いまも時々思い出している。
- ・ 講義で学んだ持続可能な開発の考えは今でも大切にしております。
- ・ イースター島の悲劇の話が印象に残っています。地球も将来このようになるかもしれないので、資源を大切に、環境に良い取り組みを心掛けようと思いました。
- ・ 水質汚染やゴミなど人間の勝手に起こっている環境問題についての授業で、動物たちが悲惨な目に遭っている映像を見た時。テレビ等でも得られる情報ではあるけれどあえて今まで見ようとしていなかった映像であったから衝撃だった。
- ・ 「環境問題のみならず、社会問題等々の問題を解決する方法は【気にしないこと】だ。」という言葉はかなり印象的でした。世の中の問題を必ず解決しないといけないという義務感からよい意味で解放されたと思います。
- ・ タイのスラムにおけるプラティープさんの活動についての授業が印象に残っています。特に人は人生において過ち等があったとしてももう一度人生を生き直すことができるという考えは今も深く残っています。
- ・ ファシリテーションを学ぶ授業で、各回でテーマを設定いただいて実践的に学べる機会をもらえるのはありがたかった。今の仕事にも活かされています。
- ・ 外部で、実際に社会で活躍されている方を先生として授業に招いて、特別講義として単位を取ることができる制度があったことが印象に残っています。生の現場での経験のお話が聞けたことが財産となっています。
- ・ 社会的マイノリティに関する講義が特に印象に残っている。障害者や LGBT 等の人たちの権利をどのように社会で支えていくのかについて色々と考えさせられることが多かった。
- ・ 英語専修クラスの授業。宿題が多くアルバイトとの両立が大変だったが、授業内容は極めて実践的です。販売員の仕事をしているが、海外のお客様とも簡単なコミュニケーションが取れるので非常に役立っています。
- ・ ベトナムでの社会調査。ベトナム人の学生と共に同じ目的に向かって、お互い母国語ではない英語を使

い協力しながら調査、発表まで勧められたことは、とても貴重な経験になりました。

【3】 大学時代の学びや出会いが、今に生きていると思ったこと(有効回答56名) 一部をピックアップして紹介します。

大学での学びがそのまま生きている～スキルが強みになる

- ・ 卒業論文でパワーポイントを作成した際に、聞き手に伝わりやすいような要約、文字の大きさ等を教えていただいたことは、会社でも意識するようになっています。なんとなく参加した海外ボランティアに刺激を受け、海外に興味を持つようになりました。今思うと、大学ではあらゆる経験ができる機会に恵まれていたことを実感しています。それをいかに自分に活かせるかで、有意義な4年間の学生生活、その後の社会人生活が変わっていくのではないかと思います。
- ・ 仕事でSDGsについて学ぶことができました。大学の頃にも学んでいた為、すぐに理解することができ、より理解を深められたと思います。
- ・ 卒論に係るデータの収集や根拠付け、は現在銀行で法人融資に携わる私にとって稟議を書く際に非常に生きていると感じています。
- ・ 見方や考え方に沢山の引き出しが増えました！さらに仕事にも役立っていることが多いので、勉強や、活動を通して学んだことは人生の糧です
- ・ 台湾への留学経験を通して、中華圏の文化に意識的に触れることが多くなり、自身の好きな食べ物や娯楽の中に中国、台湾由来のものが多く、今の生活にかなり影響を与えていると思います。仕事上で日常的に中国語を使うことはありませんが、今後のステップアップとして中国語が話せるというアドバンテージは役に立つと思います。
- ・ ボランティア実習→躊躇っていたが、一歩踏み出し素晴らしい経験体験をすることができた。その一歩を踏み出すという行為の大切さや、自分の知らない素晴らしい景色や地域が、この日本国内に多数あるということを知り得るきっかけとなった。
- ・ インターンシップ。現場を歩く大切さ。座学で学んだことを、実際に現場に出向いて、見たり聞いたりすることで、理解を深め、自分自身のものにすることができ。(おおい町へのフィールドワーク、やまぼうし農園での稲作や6次産業化の活動を通じて)
- ・ 授業で習ったPhotoshopを仕事で使っているのでよかった。
- ・ タイへボランティアに参加し、日本以外での生活を経験して、日本との違い、海外の良さ、人との繋がりを大事にしていきたいと感じました。
- ・ 里山地域のコミュニティ活性化のための取り組みに3年ほど関わらせていただき、大正～昭和初期の当時の暮らし、自然との関わり方をたくさん勉強することができました。里山での活動はただ話を聞いたり、お手伝いをするだけでなく、自分自身の生活に生かすことのできることを多く学びました。
- ・ 自分は、地域活性のボランティアサークルに所属していましたが、この専攻とも非常に結びついていて、発見が非常に大きかったです。大学を卒業して、新たな土地で生活していますが、この土地の食べ物・観光・人・文化など些細なことからもっと知りたいと感じています。そう思えるのも、環境・まちづくり専攻で学んだことは大きいものだと感じました。
- ・ SDGs はどこ会社も今重要な課題となっているので、4年通して最前線で学べたことは仕事をする上

でとても役立っている。

- ・ゼミを通してエコ検定に合格した事です。会社の一社員としてエコ検定を受けさせる事が本格化した中で、学生時代に取得できていた事は大きいです。
- ・ゼミでの活動として、就職活動のためにキャリアセンターの方と教授が連携をとって、模擬面接をしていただきました。そこで私は、違う部署の方と日頃から良好な人間関係を築いて、仕事にも生かす大切さを学びました。
- ・人との繋がりは今でも生きています。また今は産業廃棄物に関する仕事に従事しているため、少なからず環境という分野には身を置いているので、なんだかんだ縁深く思います。

今につながる出会い

- ・学部やゼミの仲間、先生方、キャリアセンの方、全ていい出会いだと思っています。また海外でのプログラムにおいても、私の人生の中で大きな経験となっております。
- ・大学で出会った友人たちと外部でボランティアなどの活動などを行った経験は、現在の仕事につながっています。課外活動を通して、大学内の学びや出会いを社会の中でどう活かすかということを考えるきっかけを得られました。
- ・大学で出会った友人と卒業後も会っています。なかなか思うように会えないご時世ですが、人生の財産です。
- ・ゼミ生同士の交流のおかげで幅広い業職種の情報交換ができています。
- ・まち歩きイベントの実委やアセンブリーアワー、ゼミ内での活動などで、企画・運営する経験をたくさん出来たこと。特にまち歩きでは行き先を決める企画から当日の運営まで一通りの流れを自分達で考えていたので、その経験は色々な役に立っている。
- ・まち歩きやまぼうし農園、オープンキャンパス、エコキャンドルなど、卒業しても後輩との出会いや当時お世話になった方々といまでも付きあってる！
- ・まちづくり系の勉強や、サークル活動をしていたので今も地元や、勤務先での地域での取り組みに着目します。具体的に関わることは無くなってしまったのが少し残念ですが、中途半端に関わることも良くないと当時学んだので、本当に関わりたいと思った時に学生時代に得たことや離れてみて感じたことを活かせたらいいなと思います。

人との付き合い方

- ・人との出会いは大きいと思う。沢山の学部がある近畿大学は大規模な大学なのでその分色々な人と接する機会が多かった。今は接客の仕事に就いている。人と話す楽しさや話す事が苦手だった異性とも気軽に話せるようになり、高校生の頃と比べると人と関わるのが好きになった。
- ・大学時代にさまざまな人との出会いを通じて得た様々な知識や考え方が、生活の中で活かされていると思う。例えば、仕事などで他者とコミュニケーションを図る際に、他者とは違う切り口で話ができ、より楽しく会話ができている。
- ・色々な人とコミュニケーションをとる事です。憧れや暖かみ、時には憤り、反面教師的な方もいらっしゃいましたが、全部含めて消えることの無い大切な経験値になっています。
- ・大学時代いろいろな人と関わったことで、社会にでても人とうまく関わっていけていると思う。

卒業してからわかったこと

- ・ 時間があることの大切さ
- ・ 自由に時間を使える環境の有難さが身に染みんでいます。不特定多数の方と交流し、関係を築くのは授業自体よりも今の生活に役立っているように感じます。その点コロナ禍で登校率の下がっている現役の生徒は非常に気の毒に感じます。
- ・ 他の大学はわかりませんが、学校も綺麗で、設備、環境、イベント、出会い、全てにおいて素晴らしい大学だったと今でも思います。
- ・ 全ての人たちとの出会いに意味がありました。近畿大学で良かったです。
- ・ 近大出身の人が多いため、営業先での話のネタになる。

【4】 総合社会学部環境・まちづくり系専攻のお勧め度

全くお勧めしない0～自信をもってお勧めする10

平均点 8.1±1.8 点 (得点範囲:2-10 点)

【5】 卒業生から現役生・高校生へのメッセージ(有効回答 65 名)

一部をピックアップして紹介します。

- ・ 在学中は様々な学びや体験をする機会が多くあります。是非たくさんのご経験してほしいと思います。社会人になってからは、やりたいことをする時間はなかなか取れません。
- ・ 特に総合社会学部では挑戦を応援してくれるので、興味のあることにはドンドン相談・実行してほしい。
- ・ 今のうちに様々な知り合いや友人、イベントやボランティアなどの活動を通じて縦の繋がりを増やした方が、これからも楽しいことにつながる👉
- ・ とにかく興味を持ったことにはすべて手を出す！(失敗しても、違うかったとしても何かのヒントになるし、学生のうちはやり直せる)行きたいと思ったところに行っておく！(情勢的に厳しいかもしれないが、海外ボランティアや旅行等)→英語はやっぱり話せた方が役に立つと思った。いろんな人と交流を持つ。同期、先輩、後輩、先生、何かの機会であつた企業の方など、話して得ることは多いし、違う専攻の子ともどんどん交流を持って、違う専攻の授業も興味があればどんどん受けるべきだと思う。
- ・ 英語を学ぶと人生が楽しくなると思います！英語村がある環境は貴重でした！
- ・ 勉強は裏切らないです！友達も一生の宝物です。
- ・ 近年、急速にグローバル社会において『環境』の話題を耳にすることが多くなってきました。多くの方が『環境』に注目している中、環境系専攻の皆さんにとってはチャンスが来ているのです。広く多くのことを授業では学びます。学生生活や授業の中で一つでも自分の興味があることが見つければいいなど応援しております。
- ・ 余裕を持って単位を取る事。バイトと遊びだけじゃなくて知見を広める事。

- ・ 資格を取得することで就職活動中や職場で、そんな免許を持っているんだ！と何かのキッカケになることが多いです。自分には興味がなくても将来的に役に立ちそうな資格をとっておくだけで周りとの差をつけることができますと思います。学生時代はどうしてもアルバイトを優先しがちです。しかし学内で実施されているイベントに参加することで、より視野を広げることができたのではないかと感じるので、イベントへの参加をお勧めします。
- ・ 何でもいい、小さくても大きくても、やってみたいなあと思うことは是非一歩踏み出してやってほしい。目標を立て、その目標に向けて進んでいくということは、社会で生きていくうえでも、自分の人格等形成においても、きっと良い影響を与えると考えている。
- ・ 社会人になってから受けたいと思う授業はいっぱいあります。大学生の間はなかなかおもしろいと思えなかったり、勉強になるなあとかは考えられない人も多いと思います。ただふと頭に残ることもあることもあると思うので、そのふと頭に残ったことを忘れないようにしてもらえればと思います。いつか役立ちますよ。
- ・ 自分のやりたいことにとにかくチャレンジすること。(自分は恋愛や旅、楽器など)とにかく勉強も含めてやりまくって失敗も成功もしたらいいと思います！
- ・ 主体的に行動してみてください。早い段階に社会人との触れ合いをおすすめします。
- ・ 専門分野の教授が居て、聞けばタダで教えてもらえる環境は今しかありません。まとめて学費を払えば追加費用なしに何でも学べる環境に身を置いているうちに、吸収しまくりましょう。単位を取ることにしか考えていなかった過去の自分の選択を、めちゃくちゃ後悔してます。ほんとにもったいないです！
- ・ 興味がある事にはとことんのめり込む。時間が多くある学生時代に海外旅行に行ってみる。
- ・ 近畿大学には、他大学と比較しても非常に多くの学生さん、教職員の方々がいらっしゃいます。今思えば、学部外の方とはあまりお会いする機会をつくってこなかったのも、たくさんの方が集まっている近畿大学の良さを活かしきれなかったのかなと感じます。気の合う方というだけではなく、自分にはない経験や価値観を持たれた方々との対話通じて得られるものや、そこからつながっていくチャンスもあると思います。学部内での学びはもちろんですが、大学内での人との出会いを通じて得られるものは学生時代だけではなく、これからの人生に活かせるものばかりです。近畿大学の良さの一つである多様な人が集まる場という特徴を最大限に利用して、自分たちで学びの機会を作っていってほしいなと思います。
- ・ 学生として勉強できるのは大学生で最後なので、勉強を一生懸命やるといいと思う。知識を増やすことが大事。あとは、ゼミや友人などと思っきり遊ぶこと。社会人になって辛いことがあっても、楽しい経験が糧になるから。
- ・ なんらかのクラブに入っておくこと。大学、学部選びは慎重に。いろんな人の意見を聞くのはいいが、最終的には自分の本心に従って自分で決めてください。
- ・ 授業・授業外でいろんなモノに触れて自分の感性を磨いて下さい。社会に出て困ったときに役立ちます。
- ・ ブログと YouTube と Photoshop とイラストと動画編集、ウェブライター、Web サイト制作のいずれかの知識はマジでもっといた方がいいです。あとはお金の知識も！
- ・ お金の勉強、社会人としての常識、敬語、電話対応、タイピング、エクセル・ワードを使いこなす。

- ・ パソコンの基本知識がいかに大切か、社会人になって痛感しました。大学では情報の授業もしてくれるので、意欲的に授業を受けていただきたいです。
- ・ 大学生は社会人に比べて時間が自由に過ごせる時間がたくさんあると思います。時間を活用してなにか興味のある分野の資格をたくさんとっておくと、仮に社会人で転職するとなった場合でも、こういう資格持ってますなど、アピールできる要素が一つ増えるので良いと思います。
- ・ 勉強だけでなく、先生方の取り組みや興味のある分野は自ら足を踏み入れてどんどんチャレンジしていくことをお勧めします。自分の興味に間違いはないです。ちょっとした興味が、自分の人生の糧に繋がっていたりします。好きなことを突き詰める、楽しんでください。
- ・ たくさん遊ぶ、いろんな人と会う。専門の授業が増えてくると、基礎や他専攻で学んだことが繋がってきて楽しい。基礎の学びを大切に。
- ・ 大学で多くの人の価値観に触れる中で、価値観を定めて自分の道を築く場所にしてほしい。
- ・ どの大学を出たかじゃない、人生で何を成し遂げたかが大事。
- ・ 人前に出て話す事ができる力。就職に有利に働く資格を取っておくこと。
- ・ 自分のしたいこと興味あることは大学時代に片っ端から取り組むべき、社会人になると興味あることも時間がなく取り組めない。
- ・ 勉強面であれば、自分が選んで入っている学部・専攻なので専門の勉強は楽しく学ぶのが1番だと思います。ただ、英語や外国語を学ぶのは最後の機会でもっとしっかり勉強しとくべきだと思った。e-cubeにもっと気軽に立ち寄れるような人になりたかったと思います。
- ・ 一日一日を無駄なく大切に過ごすことが大切です。無駄のない大学生活を送って下さい。
- ・ 卒業しても良い大学です。
- ・ 公的資格の勉強は、在学中に少しずつやっていたら周りとの差をつけて社会に出ることができると思います。楽しい時期ですが、毎日勉強する習慣をつけて貰えたらと思います。

【6】卒業生からのメッセージを読んだ在校生より

- ・ 今の状況に満足せず、常に何かを学びつづけ、行動しつづけることを大切にしていきたいと思います。また総合社会学部で3年間学んできたことを振り返り、自分に何が身についているかを考えて、残りの1年間を頑張ります(田中 萌絵)。
- ・ 授業を受けていく中で、正直、社会に出ても役に立つものは少ないだろうな、という印象を受けていました。しかし、卒業生の方々の役に立ったという声が多かったので、自分の将来のためにもがんばろうとおもいました(森 楓)
- ・ 何気ない日常生活や講義の中で得られた気づきや疑問に思ったこと、そんな気づきや疑問を大切に、それらと向き合い自分の力で考えることが重要なのではないかと思います。残された時間を大切にしたいと思います(岩田 和樹)。